

山根歯科通信

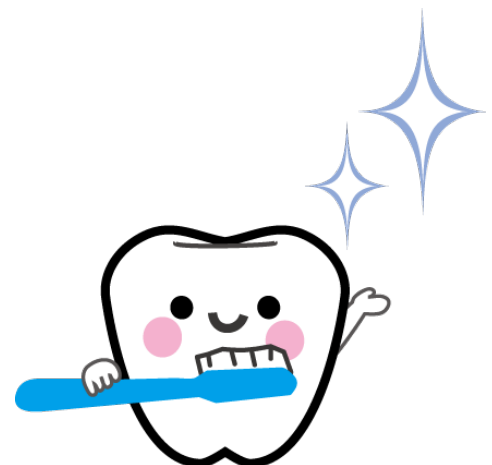
2019. 9. 1. No. 54



【今回のテーマ】

- * ボーンレベルテーパード(BLT)インプラント
- * 山根晃一院長が宇部歯科医師会理事に就任されました
- * 光学印象

〒755-0031
宇部市常盤町2丁目5番25号
医療法人社団 山根歯科医院
併設: 山根口腔インプラント研究所
0836-21-5512
<http://www.yamanedental.jp>



山根口腔インプラント研究所からの伝言 ボーンレベルテーパード (BLT) インプラント

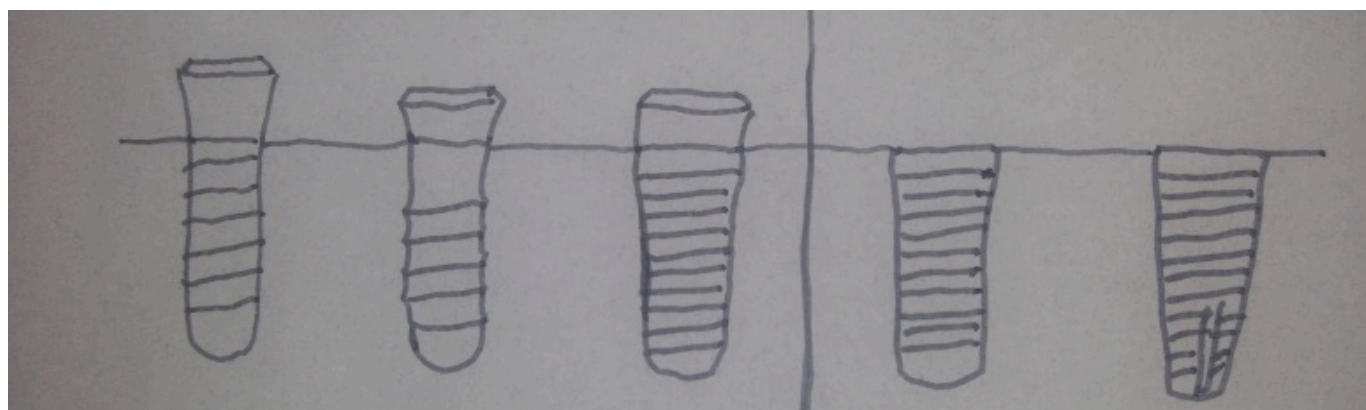
医療法人社団山根歯科医院
理事長 山根 進



山根歯科医院では 40 年前より、一貫してストロマンデンタルインプラントシステムを使用し、今まで、患者様のインプラント治療を行ってきました。その間、ストロマン社のインプラントシステムの改良が行われ、当院も、それに従い、インプラント治療の改善を実施してきました。例えば、インプラント体のデザインですが、この 40 年間で、色々変化してきています (下図)。デザインは症例に合わせて粘膜貫通型のスタンダード (S)、スタンダードプラス (SP)、テーパードエフェクト (TE)、粘膜封鎖型のボーンレベル (BL)、ボーンレベルテーパード (BLT) があります。BLT は筒状の BL の根尖部位にテーパードを与えたものであります。初期固定を必要とする抜歯窩に適しています。また、根尖が細くなっているために、骨の切削量は少なく、骨の外へ貫通したり、近接する歯牙、インプラント、神経繊維組織を傷つける確率も低くなります。より安全なインプラント体ということになります。BLT インプラントは BL インプラントと同じく、粘膜貫通型では、前歯部の審美性の回復が難しかったですが、BL、BLT インプラントではカスタムインプラント支台 (チタン、ジルコニア) を使用することにより、容易に審美性を回復することができるようになりました。また、インプラント体はチタンにジルコニアを配合した Roxolid で作製され、機械的強度も強くなっています。

粘膜貫通型 (ティッシュレベル)

粘膜封鎖型 (ボーンレベル)



S

SP

TE

BL

BLT

山根晃一院長が 宇部歯科医師会理事に就任されました



市民の健康維持に貢献

人往来

◇宇部歯科医師会の真宅正昭会
長、宮脇雄一郎専務理事、山根晃
一保険担当理事（左から）

5月22日の総会で役員改選があ
り、新役員が決まった。真宅会長
と宮脇専務理事は再任、山根保険
担当理事は新任。任期は2年。真
宅会長は「市民の健康維持にしつ
かり貢献していきたい。今年度も
市内の全小学校でフッ化物洗口の
取り組みを行い、虫歯予防につな
げたい」と話した。
（柘永）

5月22日宇部歯科医師会で行われた総
会で役員改選がありました。この度、
当院の山根晃一院長が宇部歯科医師会
保険担当理事に就任し、その内容が宇
部日報に記載されました。

これからも市民のみなさまの健康維持
に貢献できるよう努めて参りますので、
よろしくお願い致します。

光学印象

山根歯科医院に口腔内スキャナーを導入しました！

被せものをつくる際に歯の型をとりますが、この型取りが苦手な方もおられると思います。

口腔内スキャナーを使用することで、歯の型をとらなくても被せものができます。

お口の中をスキャナーで読み込むことで、お口の中の状態がパソコン上に再現され、パソコン上で被せものを製作することができます。



※光学印象は現時点では保険適応はありません。
また、製作可能技工物に限りがあります。